授業科目	こころと人間					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	前期
担当教員	中島　俊介						
授業概要	心理学の対象領域は現在、非常に多岐にわたっている。この授業では，心理学一般に関する基礎知識の習得をねらいとしながら、生涯発達心理学をベースとして、年齢ごとの認知、記憶、ことば、感情、パーソナリティの発達など、人間的事象をさまざまな角度からとらえるための技法、知識、学問的成果について講義をすすめる。ビデオ教材も使いながら、ストレスの多い現代社会に適応して、健康な心構えを形成するための考え方と行動についても学習する。なお、この授業は対面授業として実施する。						
授業形態	講義				授業方法	グループワーク。	

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1. 心理学がどのような学問であるか、その歴史や研究法から理解する 2. 人の心理的な発達を生涯発達の視点から説明できる 3. 人の活動を支える欲求とその正しい処し方について説明できる 4. 人の特性を表す性格や知能のさまざまな捉え方を説明できる 5. 心の問題に働きかける心の健康法や心理療法の基礎的知識を説明できる 6. 社会の中でみられる人間の行動特性を説明できる 心理学の基本的な知識を理解し、それを人に伝えることができる。心理学の様々な知識や理論を人に説明することができる
理想的レベル	心理学の基本的な知識と思考態度をよく理解し、現実生活の様々な課題の解決を図る時に応用することができる。これまで蓄積されてきた心理学の知見や諸理論を説明し他者に正確に伝えることができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	60%	
小テスト		
レポート	30%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物	10%	
その他		

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	NU10407J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
予習；テキストの前書きを読む 復習；該当部分の復習	4

授業計画	
第 1 回	テーマ「オリエンテーション」」（中島俊介） 心理学とは・その歴史・最近の推移・研究方法を解説する。
第 2 回	テーマ：生涯発達心理学の視点の重要性」（中島俊介） 心と人生を学ぶことの意義とその使い方について
第 3 回	テーマ：感覚と知覚」（中島俊介） 感覚と知覚、認知の違い。知覚の諸問題
第 4 回	テーマ：学習・記憶・思考」（中島俊介） 学習の障害。記憶の諸問題。思考について
第 5 回	テーマ：発達１。胎児・乳幼児の心理」（中島俊介） トラウマ・自律・しつけの諸問題
第 6 回	テーマ：発達２。学童期・思春期の心理」（中島俊介） 勤勉性・反抗期の意味・いじめ・集団の力
第 7 回	テーマ：発達３．青年期・成人期の心理」（中島俊介） こころの危機をどう乗り越える。ＬＧＢＴＱの理解。
第 8 回	テーマ：感情の心理学」（中島俊介） アドラー心理学の感情論について
第 9 回	テーマ：感情と適応・不適応について」（中島俊介） 森田の心理学（森田療法理論）から学ぶ
第 10 回	テーマ：人間関係について１」（中島俊介） 心の病と健康について
第 11 回	テーマ：人間関係について２」（中島俊介） コミュニケーション（対話）のスキルについて
第 12 回	テーマ：メンタルヘルス１」（中島俊介） こころの病について（うつ病、依存症など）

第 13 回	テーマ：メンタルヘルス２」（中島俊介） 発達障害の理解と対応について
第 14 回	テーマ：今後の心理学と２１世紀のキーワード・多様性（ダイバーシティ）の定義と内容。（中島俊介）
第 15 回	第 15 回；テーマ「これまでの学習のまとめと振り返り」（中島俊介） それぞれの学びを交換して未来への展望を拓く。
テキスト	「こころと人生」　編著者　中島俊介　ナカニシヤ出版　2017 年。2000 円
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「こころと人間」著者　中島俊介　ナカニシヤ出版　2000 円
課題に対するフィードバックの方法	レポート・小テストの模範内容を公開する。
学生へのメッセージ・コメント	人間の心が関わらないことは少ない、また我々の悩みは人間関係の問題である。日常の心の働きに関心を持ち、積極的に授業に取り組んでもらいたい。 講義各時間の内容理解度を知りたいので素直な感想を毎時間、自主的に教員に伝えて欲しい。その方法については授業中に案内説明する。